

大野で生きる 大野に生きる



大野づくり計画

平成 27 年3月
大野地区公民館

見直し版

大野で生きる 大野に生きる ～大野づくり計画（見直し版）～

もくじ

1	大野づくり計画（見直し版）について	P 1
2	大野はこうありたい（行動計画）	P 2
3	参考資料	
	（1）こんなことをやってきた（大野づくりの歩み）	P21
	（2）大野づくり計画見直し委員会名簿	P23
	（3）策定経過	P24
	あとがき	P25

1 大野づくり計画（見直し版）について

大野づくり計画（計画期間：H23～H32年度）は、平成22年度に策定した「初版」の考え方に沿って、これからの中後期のために、平成26年度にわたしたちが考え意見を出し合って、行動計画の見直しを行いました。

わたしたちは今、地域づくりへの手ごたえを感じ、また、新しいことにも挑戦しながら、大野づくりを進めています。

この行動計画の見直しによって、さらに良い大野づくりが進むよう、行政とも協働して行動を続けます。



2 大野はこうありたい（行動計画）



2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p>ずっと安心 高齢者にやさしい大野でありたい</p>  <p>▲ふれあいスポーツ大会</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 高齢者クラブ</p>
	<p>市</p> <p>企画課</p> <p>保健福祉課</p> <p>社会教育課</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
			<p>※1 乗合タクシーは地域のみなさんの適正な利用により運用されている制度です。これからも大野ルートをご利用ください。 今後も、関係者及び利用者のご意見等をいただきながら、より良い運用を図ります。</p> <p>※2 高齢者クラブ(老人クラブ)のバス利用については、他クラブと同様年3回の利用提供を行っていきます。 今後も健康教室等において、遊具類の提供(「保健福祉課関係」分)については、安全面での配慮を職員が行いながら行っていきます。 指導者や講師派遣については、計画を立てて要請してください。内容を確認の上積極的に対応していきます。</p> <p>※3 大野地区の活発的な公民館活動をさらに推進することができるよう、公民館別館とともに支援します。また、大野地区公民館の活動については県内外から注目されており、大野づくりの考え方や手法を他の校区や市外にも波及できるよう、活動の情報発信に努めます。</p>
<p>○地域の目配り、気配り、声かけで、安否確認を行う。 ○高齢者が日中過ごせるような場所(グラウンドゴルフやカラオケ)をつくる。 ○高齢者クラブがボランティアで作付した野菜を必要なところにふるまい、大野の野菜としてアピールする。</p>			
<p>○高齢者の病院や買い物のため、乗合タクシーを利用する。</p>			
<p>○いきいきサロン(健康教室、お菓子づくり、夕食づくり)で楽しみを増やす。</p>			
<p>○現行ダイヤによる乗合タクシー制度の維持に努める。※1</p>			
<p>○高齢者クラブの活動のためバス送迎、遊具類の提供、指導者や講師派遣を行う。※2</p>			
<p>○地域づくりの拠点である公民館活動を支援する。※3</p>			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p data-bbox="151 705 933 840">地域内にある組織の相互連携と 体験づくりで交流を広げたい</p>  <p data-bbox="159 1518 263 1550">▲夏祭り</p>	<p data-bbox="1045 1108 1252 1422">大野地区公民館 各振興会 高峠わかば 高齢者クラブ 自然学校 棒踊り保存会 校区畜産会 地区青年部 鹿大演習林 森人くらぶ</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○「大野原いきいき祭り」の毎年開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元特産物の販売と地域活性化、大野のアピール <p>○地域行事の開催で、地域住民の親睦を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポーツ大会 ・夏祭り ・豊年祭 			
<p>○地区公民館で、趣味の教室の開催を検討する。</p> <p>○花いっぱい運動(ひまわり等)の推進。</p> <p>○ホタルの郷づくり。</p> <p>○地域住民で「思い出のアルバム」を作成する。</p> <p>○地区青年部に親世代も理解し協力する。</p> <p>○大野の自然を活かした体験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットパスによる交流人口増(協力家庭の軒先改修) ・削蹄見学 			
<p>○自然学校の活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然学校の運営に協力し、もっと密に連携 ・自然学校の体験活動のため、畑や山林を貸与 			
<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の倉庫の整備 ・体育館の利用団体(大学部活等)の誘致 ・宿泊施設化の要望 ・介護、福祉施設化の要望 ・五右衛門風呂の設置 ・大野の米、野菜の活用促進 			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p>地域内にある組織の相互連携と 体験づくりで交流を広げたい</p>  <p>▲棒踊り奉納</p>	<p>大野地区公民館 各振興会 高峠わかば 高齢者クラブ 自然学校 棒踊り保存会 校区畜産会 地区青年部 鹿大演習林 森人くらぶ</p> <hr/> <p>農林課</p> <hr/> <p>市 社会教育課</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○郷土芸能をさらに振興する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野で市内棒踊り発表、競演会の開催 ・保存会指導者、後継者の育成 			<p>※4 農林業体験等イベントには、近年、安全性の確保、付加価値等求められるものが増加してきています。 しっかりとした特性のあるメニューが作成できた時点で、情報提供の機会の創出、関係機関等への働きかけを図っていきます。</p> <p>※5 今年度改めて各地区公民館から補修、修繕に係る要望をいただいております。 各地区公民館は全体的に施設が老朽化しており、改修内容や緊急性等を精査し、対応していきます。</p> <p>※6 郷土芸能運営補助金等もございしますので、検討します。 市内の棒踊りそれぞれに特徴があり、記録に残すことは課の課題でもあります。郷土芸能振興のための提案があれば課として全面的に協力します。</p> <p>※7 宿泊施設への用途変更につきましては、建築基準法による耐震診断や消防法、旅館業法等関係法令などに抵触しないか、課題も多く十分な検討が必要であると認識しています。</p> <p>※8 必要な物品(イス、机、フロアシート等)の貸出をはじめ、全面的に支援、協力を行ってまいります。</p> <p>※9 現在もニュースポーツの貸出を行っておりますが、今後も必要な道具は貸し出します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・棒踊り指南書、DVD作成、歌の継承 ・棒踊り衣装新調、音響機材の整備 			
<p>○地域の拠点としての地区公民館と位置づけ、必要な整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗り替え、落下防止対策 ・軒下・軒天の修繕 ・台所排水改善 			
<ul style="list-style-type: none"> ・床マットの補修 ・その他備品の整備 			
<p>○地区で構築した具体的な農林業体験メニューが作成できた時点で、情報発信を図る。※4</p>			
<p>○地区公民館については、可能な範囲で補修、整備を進めていく。※5</p> <p>○棒踊りの盛り上げ、継承を支援していく。※6</p> <p>○自然学校は地区公民館の年間計画とすり合わせを行いながら引き続き運営し、宿泊施設等の活用については検討する。※7</p> <p>○今後も、大野原いきいき祭りの支援、協力を続ける。※8</p> <p>○ふれあいスポーツ大会のための道具類を貸し出す。※9</p>			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p>高峠公園、垂桜の景観、演習林の資源を活かして、大野の魅力をもっとアピールしたい</p>  <p>▲演習林の散策</p>	<p>大野地区公民館 各振興会 高峠わかば 高齢者クラブ 地区青年部 鹿大演習林 森人くらぶ</p>
	<p>市 水産商工観光課</p>

いつ、何をやる			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○高峠つつじヶ丘公園の地区でできる整備、管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花、植物の植栽 ・高峠の桜、つつじ、アブラナを見るスペース確保 ・高峠頂上からの眺望をアピール ・高峠の畑を活用するための年間作型の確立 ・つつじ開花時期のおもてなし処(つつじ庵)の開設 			<p>※10 メガソーラー建設によって貸し出す場所が無くなりましたが、公園入口の右側(菜の花・そば等を植え付けされている場所)については、協議します。 つつじ管理(カズラ切り実施等)についてさらに研究します。</p> <p>※11 予算の範囲内で実施します。また、現場を見たうえで、今後の対応を検討します。看板については今ある看板を改良していきます。 平成26年度は、登山道及び旧登山道(山頂からの左側)の整備を行いました。</p>
<p>○新たな憩いの場として、垂桜を山桜の名所にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紅葉樹を活かして散策できる公園と、駐車場の整備を要望 ・ニッセイの森も活用した散策ルートづくり 			
<p>○高限登山や周辺でトレッキング体験ができるよう整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元ボランティア案内人の養成 ・登山者のための休憩所を提供 ・国やニッセイに駐車場整備、公園化を要望 ・登山口、分岐点など要所への看板設置を要望 ・吉野桜植栽(将来は、インターネットによる見頃案内) 			
<p>○演習林の魅力を引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習林の歴史、長谷集落の記録整備 ・学習プログラムの開発(福祉と地域学習) ・地域と大学のコラボで、人材育成の「大野モデル」を構築 ・トレイルランニングによる交流人口増 ・実習・視察団体受入 ・冷泉、びしゃご岳、もみじ大木、夫婦墓の調査 ・演習林事務所の宿泊施設化の要望 			
<p>○高峠公園内の花、植物植え付けのための提供場所等の協議を行う。 ※10</p>			
<p>○高峠頂上までの登山道については、現在管理を行っている森林組合と協議を行う。 ※11</p>			
<p>○国有林やニッセイの森の活用に関して、関係課と協議を行う。</p>			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p>「うのばいブランド」を確立し、 消費者のこころをつかみたい</p>  <p>▲つらさげ芋の焼き芋</p>	<p>大野地区公民館 高峠わかば 茶業振興会 地区青年部 鹿大演習林 森人くらぶ</p>
	<p>市</p> <p>農林課</p> <hr/> <p>農林課、農業委員会</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○商品開発とブランドづくりを推進する。</p> <p>○特産品の販路開拓と拡大(茶、つらさげ芋、貯蔵芋、大野野菜、ニジマス等)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット販売(タブレットなど今の売り方を勉強) ・予約販売 ・物産館の建設 ・軽トラ市 <p>○物産館等に大野の品を売る専用コーナーを設置するための体制づくりを行う。</p>			<p>※12 商品開発にあたっては、それぞれのステージで具体的な要望や意向が発生すると考えられますので、県(大隅加工技術研究センター等)をはじめ関係機関への支援のお願いや情報の提供を図っていきます。</p> <p>また、本市施設の有効的な活用も状況に応じ検討します。</p> <p>物産館等の計画が具体化したときには地区に情報を提供します。</p> <p>※13 事業導入が具体化した時点で、それぞれの状況に応じた補助事業等の情報を提供します。</p> <p>※14 宣伝の方法等も含め、具体化された時点で、情報提供の機会の創出、関係機関等への働きかけを図っていきます。</p> <p>※15 実現化に向けてのアドバイス、情報提供を行うとともに、関係機関等への紹介も行っていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント、祭りへの参加 ・販売窓口をNPO森人くらぶへ依頼 ・講習会の開催 <p>○加工施設、必要な機器の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利用も検討 			
<p>○さつまいも、にんじんを使った商品を開発し、大野らしい商品をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生との連携も視野に <p>○法人化、団体化など農業経営の見直しを検討する。</p> <p>○降灰対策のためビニールハウスを導入する。</p>			
<p>○大野茶を消費者にもっとアピールする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、市、県の三者で茶の加工品の開発 			
<p>○研究機関等と共同による商品開発については、具体的な要望や意向を確認したうえで支援のお願いや情報提供を図る。※12</p>			
<p>○降灰対策については、導入が具体化した時点で、補助事業等の情報を提供する。※13</p> <p>○大野の品を宣伝する場所の提供については、具体化された時点で、情報提供の機会の創出、関係機関等への働きかけを図る。※14</p>			
<p>○法人化、団体化については、実現化に向けての情報提供を行うとともに、関係機関等への紹介も行う。※15</p>			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p data-bbox="156 763 879 898">大野に人を呼び込むため、 よりよい生活環境をつくりたい</p>  <p data-bbox="150 1554 831 1588">▲「がねそば」にならぶ人々（第2回大野原いきいき祭り）</p>	<p data-bbox="1043 1151 1315 1368">大野地区公民館 各振興会 大野原水道組合 垂桜・駒ヶ丘水道組合 消防団 農地、水保全 森人くらぶ</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
	<ul style="list-style-type: none"> ○水源地関連設備の改修。 <ul style="list-style-type: none"> ・大野原水源地の排水ダクト ・垂桜第1水源取水口 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ボーリングによる新たな水源を確保。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○大野原ろ過剤を更新する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○市道・農道、集落道の整備のため、地区でできる労力提供を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校先のカーブ改良 ・大野原～垂桜連絡道拡張及び側溝の改修 ・大野原水源地までの舗装 ・田地明～垂桜集落への市道 ○県道(中尾橋～田地明区間)の拡幅の早期実現を要望する。 ○連絡道(猿ヶ城～垂桜間)(国有林内)の整備を要望する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・大羽重神社登り口道路整備 ・田地明の市道山側ののり面 		
<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な集落内の環境整備、奉仕作業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・垂桜公民館上の運動場の管理方法を改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地、水の制度活用 ・機器の整備 ・奉仕作業等に来てくれる学生を支援する 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○タイヤショベルによる桜島積灰除去、除雪、堆肥運搬、砂利運搬及び芝刈機による環境整 		
<ul style="list-style-type: none"> ○消防施設の整備。 <ul style="list-style-type: none"> ・垂桜は消火栓の改修を要望 ・大野原は消火栓の設置を要望 			
	<ul style="list-style-type: none"> ○婦人消防団を設立する。 		

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p data-bbox="156 719 874 853">大野に人を呼び込むため、 よりよい生活環境をつくりたい</p>  <p data-bbox="156 1514 443 1547">▲視察団体の受け入れ</p>	<p data-bbox="1046 1151 1315 1375">大野地区公民館 各振興会 大野原水道組合 垂桜・駒ヶ丘水道組合 消防団 農地、水保全 森人くらぶ</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○人を呼び込むための住宅整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅を含む、若い人が住める住宅の整備を要望 ・短期利用、夏の別荘 ・入居者を探す ・市営住宅の家賃面にメリットを付加 			
<p>○空き家の有効活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市空き家バンク制度 ・登録物件の掘り起こし 			
<p>○旧校長住宅の活用(シェアハウス、ライダーハウス等)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく空き家を出さないためのシステムづくり(家主との事前調整等) ・域外団体等との交流 			
<p>○利用可能な空家については、NPO法人が受け入れを行う施設や、加工施設への改修を検討する。</p>			
<p>○空き家(危険家屋)について、地区でできる対策を行う。</p>			
<p>○臭気対策。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区で具体的に取りまとめた要望書を企業に提出 ・情報開示、年1回の場内視察を要望 			
<p>○バイオマス発電所稼働に伴う企業への情報提供依頼を行う。</p>			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが		
	地域・団体名・市・県・国		
<p>大野に人を呼び込むため、 よりよい生活環境をつくりたい</p>  <p>▲整備された農道</p>		生活環境課	
			土木課
	市		水産商工観光課
			農林課
			消防本部
			企画課

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○水道施設改修の補助率については現行どおりとする。 ○地域と企業との対話については、地域と市で事前の具体協議が必要。 ※16</p>			<p>※16 地域からの要請があれば、状況に応じて調整を行います。</p> <p>※17 関係課と連携しながら対応を検討します。</p> <p>※18 市道田地明垂桜線の改良工事については、年次的に推進しています。学校先のカーブ改良について、現状としては土手を削る必要はないと判断しました。</p> <p>※19 事業の早期事業化に向け、関係機関と協議していきたい。</p> <p>※20 猿ヶ城～垂桜間の連絡道整備については、法面防護策検討(落石防止)等、莫大な整備費となることが考えられます。</p> <p>※21 道路改良希望箇所が特定された時点で、状況に応じ対応を図っていきます。また、資材等の提供については、状況に応じ対応を図っていきます。</p> <p>※22 消防設備の消防水利については、充足率を満たしており、新たな水利の設置は計画しておりません。女性消防団員については、国も入団を促進しています。また、大野地区においては、団員数が定数21名に対して15名と減少しております。消防本部としては、女性の入団希望者がいれば分団長会議等で検討し支援していきます。</p> <p>※23 空き家バンク制度にご登録いただいた物件情報を市のホームページで公開し、利用希望者との仲介を行っておりますので、多くの物件情報を企画課までご提供いただきますようお願いいたします。また、物件登録時の補助制度として、家財道具等の処理費用助成制度があり、平成27年度より新たにリフォーム費用補助制度の実施を予定しておりますので、併せてご活用ください。</p>
<p>○危険家屋対策については、関係課と連携しながら対応を検討する。※17</p>			
<p>○道路改良工事については、年次的に推進していく。資材提供については、状況を見て対応したい。※18 ○県道改良の早期実現については、関係機関と調整し、要望していきたい。※19 ○重機等の提供、環境整備班の支援を行う。 ○公営住宅長寿命化計画の中では、新たな公営住宅の計画はない。</p>			
<p>○危険家屋対策については、国の定める基準に基づいて、関係課と協議して対応していく。</p>			
<p>○猿ヶ城～垂桜間の連絡道整備については、関係課と連携(市道・林道)する。 森林管理署への整備要請活動(観光開発)を行う。※20</p>			
<p>○道路改良、資材等の提供について、状況に応じ対応を図っていききたい。※21 ○運動場管理支援方法を検討する。</p>			
<p>○消防設備の整備について、計画はない。女性消防団員入団については、支援を行う。※22</p>			
<p>○空き家有効利用については、空き家バンク制度への物件登録時における補助を行うとともに、情報発信に努める。※23</p>			

2 大野はこうありたい（行動計画）

こうありたい	だれが
	地域・団体名・市・県・国
<p>おおの新時代！ 持続可能な地域であるために、 みんなで挑戦を続けたい</p>  <p>▲さつまいも貯蔵庫へ土を盛り、貯蔵環境を改善</p>	<p>大野地区公民館 各振興会 高峠わかば 高齢者クラブ 地区青年部 森人くらぶ</p>
	<p>市</p> <p>社会教育課</p> <p>水産商工観光課</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
	<p>○市との覚書に基づき、山林財産(学有林10町歩)を有効に活用する。</p> <p>○メガソーラー発電所の管理について、事業者と協議を行い、新たな地域雇用につなげる。</p> <p>○自然学校プールや地区内の好適地で、淡水魚の養殖(ニジマス等)に挑戦する。</p> <p>○さつまいも等の増産(鳥獣害対策を施した遊休地の活用)。</p>		<p>※24 意見を集約した間伐計画をもって、社会教育課へご相談ください。</p> <p>※25 やきいもの販売の協力を行っております。また、商談会等の案内・参加についても情報提供を行います。</p>
		<p>○子どもを増やし小、中学校を再開する。</p>	
	<p>○山林財産の活用については、必要に応じて協議を行う。※24</p>		
	<p>○地場産業の振興について、支援のため協議していく。※25</p>		

大野づくりの歩み

平成21年度～26年度



一番のねがい
わたしたちは大野の人をふやしたい
(住む人・来る人)



- ・大野づくり計画の策定(モデル地区)
- ・地区青年部の設立
- ・第1回大野原いきいき祭り

H21～22年度

- ・地区とジャパンファームの話し合い
- ・高峠コスモス植栽の取組
- ・第2回大野原いきいき祭りで来場者3,400人を記録

H23年度

- ・高峠わかば、地区青年部がつつじシーズンにレストラン「つつじ庵」を運営
- ・地区が行う定住促進事業(空き家の改修)で移住者1名を受入れ
- ・第3回大野原いきいき祭り

H24年度



JICA帰国報告(H24年度)



計画づくり(H22年度)



いきいき祭り(H23年度)



地区で空き家を改修



過疎集落等自立再生緊急対策事業（総務省）

- ・水道施設の改修・更新、つらさげ芋生産施設、さつまいも貯蔵施設の整備等の事業を実施
- ・鹿学園祭で大野棒踊りを発表
- ・空き家を改修し新たに2名の移住を受入れ
- ・第4回大野原いきいき祭り
- ・NPO法人森人クラブの設立

- ・開拓100周年記念第5回大野原いきいき祭り
- ・九州地区公民館研究大会で棒踊り発表
- ・メディアに多数取り上げられ、視察研修団体が増加(15団体317名)
- ・大野づくり計画の見直し

H27年度からの大野づくりへ

H26年度

H25年度

県共生・協働型地域コミュニティづくり会長賞（県知事賞）、おおすみの地域力表彰（大隅振興局長賞）を同時受賞



第4回大野原いきいき祭り(H25年度)



移住者を受入れ(H24・25年度)



つらさげ芋干し場、貯蔵施設が完成(H25年度)



(2)大野づくり計画見直し委員会名簿

No.	委員氏名	職名	各種団体等役職名
1	前田 清輝	委員長	館長、大野消防分団長
2	松元 正美	議長	主事
3	宮下 直弥	委員	スポーツ推進委員、青年部長、棒踊保存会長
4	新村 良一	委員	監事、垂桜振興会長
5	宮下 省司	委員	監事、大野振興会長、地域安全モニター
6	迫田 久	委員	村作り推進委員
7	前田 ひとみ	委員	地区婦人会長
8	宮下 康	委員	大野婦人会長、大野民生委員
9	迫田 良子	委員	垂桜婦人会長
10	松元 みお子	委員	福祉部長
11	竹沢 貞子	委員	垂桜民生委員、高齢者クラブ会長
12	前田 好子	委員	生活改善会長
13	田鍋 與	委員	茶業振興会長
14	室田 修一	委員	地区畜産会長
15	森永 キヨ子	委員	高齢者副会長
16	野下 育子	委員	高齢者婦人部長
17	福島 康彦	委員	地区公民館別館
18	瀬脇 幸一	委員	地区担当職員
19	内田 のり子	委員	高峠わかば会長
20	井倉 洋二	委員	鹿大演習林
21	酒瀬川 牧	委員	森人くらぶ

(3) 策定経過

主な取組	日付	会議の名称	参加者数
・計画見直し準備	H26/12/22	大野づくり計画の見直しについての話し合い	13名
・計画見直し方針の決定、協議の開始	H27/1/21	第1回大野づくり計画見直し委員会	14名
・見直しのための意見を出し合う	H27/2/2	第2回見直し委員会	13名
・見直しのための意見を出し合う ・現行計画の検証作業	H27/2/20	第3回見直し委員会	10名
・現行計画の検証作業	H27/2/26	第4回見直し委員会	12名
・ニジマス養殖でまちづくりを推進している取組を学ぶ	H27/3/8	先進地調査研修(日置市吹上町平鹿倉地区公民館)	15名
・市関係課長等も同席した話し合いで、見直し行動計画案を討議	H27/3/18	第5回見直し委員会	33名
・見直し計画書の承認・決定	H27/3/24	第6回見直し委員会	21名
・大野原振興会で策定報告 ・垂桜振興会で策定報告	H27/3/28 H27/3/29	振興会総会	



▲先進地調査研修



▲ 第3回大野原いきいき祭り(平成 24 年 12 月9日)

見直し版あとがき

平成 22 年度に、わたしたちは第 4 次垂水市総合計画に基づく大野づくり計画（初版）を策定しました。当時の運営委員が十数回の議論を重ね、「10 年後のありたい姿」やそれらが実現に向かうための行動計画を出し合い、垂水で最初の地域振興計画をデビューさせたのです。そして、取組を開始してから 4 年が経ちました。

わたしたちは大野づくり計画（初版）の大きな目標を「わたしたちは大野の人をふやしたい（住む人・来る人）」と定め、取組を推進してきました。その中で、市外にも広く知られるようになった「大野原いきいき祭り」や、つらさげ芋、いもりこ、焼き芋その他の加工品等、自分たちが自慢できる特産品が開発され、地域振興に大きな効果が生まれています。

さらに、後継者 2 名、NPO 3 名、他 2 名の若者の定住が実現したとともに、元気のある公民館として、県内外はもとより国の機関や海外からも視察団体が大野を訪れるようになり、研修を受けられた人たちの地域づくりに活かされているようです。

計画が着々と進み、皆で行動した成果や効果も感じていますが、平成 26 年度には計画期間の中後期に向けて、計画見直し作業に取り組みました。現行計画の検証作業も行いながら知恵を絞り、6 回の検討を重ねて見直し版を策定することができました。見直し版を、大野の開拓魂を持ち続けながら、新たな事業戦略や交流促進に活かしていきたいと思えます。

見直し委員会に参加していただいた各種団体長会のみなさん、市の関係各課に心より感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月 24 日

大野地区公民館長

大野づくり計画見直し委員会委員長

前田 清輝

大野で生きる
大野に生きる

大野づくり計画（見直し版）

発行年月 平成27年3月
編集・発行 大野地区公民館
大野づくり計画見直し委員会
〒891-2104
鹿児島県垂水市田神 3688 番地
☎0994-32-4792
協働制作 垂水市役所関係各課
大野地区地域担当職員
企画課地域政策係
